

平成25年版 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書 の概要について

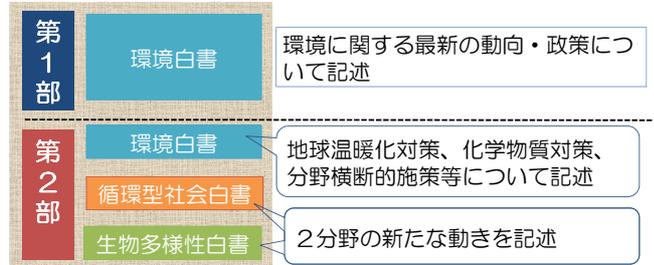


環境省

環-01

平成25年版環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書

平成24年度 環境の状況や講じた施策 など



平成25年度 環境の保全に関して講じる施策 など

環-02

平成25年版 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書の概要について

テーマ

真に豊かな社会を子供達へ

～震災復興の中でも考える持続可能な未来～

- 東日本大震災とそれに伴う深刻な原子力災害によって、除染や放射性廃棄物の処理などの長期的課題を背負うとともに、これからのエネルギー供給や自然との関係について、改めて考え直す必要に迫られた。
- また、地球温暖化等の環境問題や長引く経済の低迷等の問題を抱える中、これまでの経済社会のあり方や豊かさ、環境に対する考え方が変わろうとしている。
- 当該白書に記載した環境政策、環境保全の取組等を通じて、経済的・物質的な豊かさだけでなく、**自然環境や生活環境の豊かさ**等をも包含する持続可能で**真に豊かな社会**を築き、子供達に伝えていく必要がある。

環-03

平成25年版 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書 第1部 総合的な施策等に関する報告

第1章 東日本大震災からの復興の先に目指す豊かな地域社会の実現に向けて

- 第1節 放射性物質に汚染された地域の復興に向けた取組
- 第2節 災害廃棄物を処理するための取組
- 第3節 環境保全を織り込んだ復興の取組

東日本大震災からの復興に向けた、除染、災害廃棄物の処理、グリーン復興の取組を中心に記述。

第2章 真に豊かな社会の実現に向けて

- 第1節 一人ひとりの豊かさや環境に対する意識の変化
- 第2節 経済社会の変革への動き
- 第3節 地球温暖化を防止する低炭素社会を目指して
- 第4節 自然のしくみを基礎とする真に豊かな社会を目指す
- 第5節 人間社会と地球の循環システムが調和した社会を目指す
- 第6節 環境共生型の地域づくり
- 第7節 未来を担う子供達を育てる環境教育の取組

一人ひとりの豊かさや環境に対する意識の変化を前提に、グリーン経済の取組のほか、低炭素社会・自然共生社会・循環型社会を目指した取組を記述。また、地域づくりや環境教育の取組についても記述。

環-04

第1章

東日本大震災からの復興の先に目指す豊かな地域社会の実現に向けて

東京電力福島第一原子力発電所事故による環境汚染からの回復をはじめとする復旧の取組と、**持続可能な地域社会**を目指したグリーン復興の取組について概観する。

持続可能な地域社会の実現

放射性物質による汚染からの復興

災害廃棄物の処理

環境保全を織り込んだ復興の取組

環-05

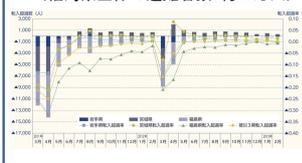
第1章

放射性物質に汚染された地域の復興に向けた取組

東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響が大きい福島県の現状と住民の不安への取組

○原発事故による甚大な影響・被害

- ・被災3県中、福島県の人口減少最大（福島県全体の避難者数：約15万人）



- ・風評被害により農作物の出荷減、価格低下

○健康管理に関する取組

- ・福島県が、全県民を対象とした健康管理調査を実施し、震災時の各個人の行動記録から被ばく線量を測定。その他、18歳以下の県民への甲状腺超音波検査、ホールボディカウンターによる内部被ばく検査、心の健康度調査等を実施。



- ・妊婦、子供へのガラスバッジの貸与

- ・国では、交付金を拠出し、福島県による健康管理を支援

環-06

第1章

放射性物質に汚染された地域の復興に向けた取組

東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射性物質による汚染への取組

○放射性物質の除去の取組

- ・放射性物質汚染対処特措法に基づいて除染を実施。
- ・「除染特別地域」、「汚染状況重点調査地域」に分類し、国・地方自治体が計画を策定の上、除染を実施。
- ・学校、通学路、公園など、子供達の生活環境を取り戻すための取組を優先して実施。
- ・除染情報プラザを拠点に、専門家の派遣、除染情報の発信、除染の助言を実施
- ・川内村長、広野町長のことば



除染が終了し、帰還した子供達(左)と再開した伝統行事(右)

環-07

第1章

環境保全を織り込んだ復興の取組

被災地の復興

○被災3県(福島・宮城・岩手)を中心とする復興の取組

福島県



福島市 土湯温泉町
温泉熱・バイナリー発電による温泉地の再生

宮城県



東松島市
メガソーラーを軸とした自立分散型のまちづくり

岩手県



陸前高田市
野菜工場の誘致による雇用の創出

復興支援の制度

○オフセット・クレジット制度(J-VER) ※平成25年度よりJ-クレジット制度へ移行
○復興支援・住宅エコポイント制度

環-08

第2章

真に豊かな社会の実現に向けて

大量生産・大量消費型社会からの脱却と持続可能で真に豊かな社会の実現に向けた取組を概観する。



環-09

第2章

豊かさや環境に対する一人ひとりの意識の変化



・昭和47年
物の豊かさ(40%)
心の豊かさ(37%)
>物の豊かさ(37%)

・平成24年
心の豊かさ(84%)
物の豊かさ(30%)
>物の豊かさ(30%)

・節電や省エネを重視 70%

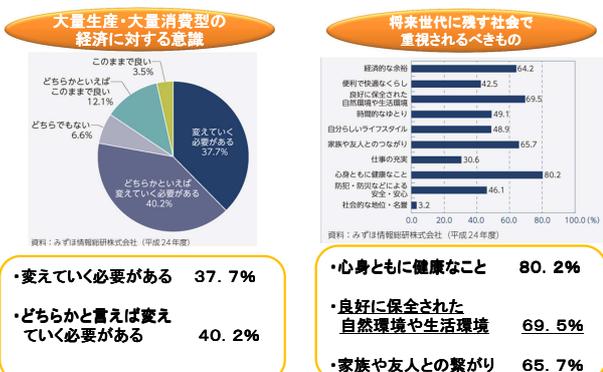
・放射線の影響を意識 64%

・再生可能エネルギーを重視 54%

環-10

第2章

豊かさや環境に対する一人ひとりの意識の変化



・変えていく必要がある 37.7%

・どちらかと言えば変えていく必要がある 40.2%

・心身ともに健康なこと 80.2%

・良好に保全された自然環境や生活環境 69.5%

・家族や友人との繋がりがり 65.7%

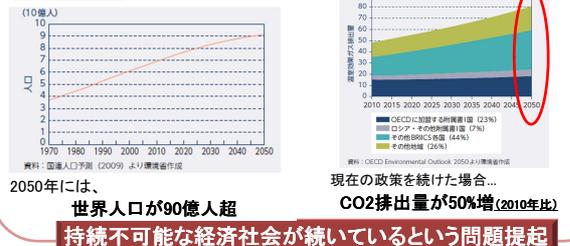
環-11

第2章

従来の経済社会に対する警鐘

「成長の限界」(1972年、ローマクラブ)
このまま人口増加や環境汚染などの傾向が続けば、資源の枯渇や環境の悪化により、100年以内に地球上の成長が限界に達する。

【近年の警鐘】



環-12

第2章

環境共生型の地域づくり

地域社会の課題解決に向け、自然資源、人的資源等を活用して、持続可能な地域社会構築に向けた先進的な取組

横浜市

スマートシティプロジェクト、緑地・生物多様性保全の取組。環境未来都市。

水俣市

公害の教訓を糧に、環境と経済が一体となって発展する持続可能なまちづくり。日本の環境首都。

西栗倉村

森林資源を活用したまちづくり

海士町

住民の幸せの追求と産業振興による島のブランド化



図-19

第2章

未来を担う子供達を育てる環境教育の取組

ESD(持続可能な開発のための教育)

「国連持続可能な開発のための教育の10年」の推進に向けた普及啓発等

学校教育における取組

新学習指導要領に基づいた環境教育

地域における取組

行政やNPO等が一体となって、地域資源を活用した取組

自然とふれあう取組

エコツーリズムを通じた自然環境教育

ゲームを活用した取組

環境問題や生態系を学べるカードゲーム



図-20